◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は令和6年10月発行予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区ホームページからご覧いただけます。https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/
裏面のQRコードよりアクセス可能です。

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第２２３号
令和6年（2024）8月発行
発行・事務局
○荏原第一地域センター○
小山3-14-1（〒142-0062）
TEL　３７８６－２０００

区民まつり

7月13日(土)午後2時から午後8時にスクエア荏原にて荏原第一地区の品川区民まつりが行われました。当日は開会式で森澤区長、河野実行委員長とスクエア荏原の島袋館長の挨拶から始まり、8千人以上の来場で大変賑わいました。夕方から小雨もありましたけれど開催できて良かったです。

わが荏原二丁目町会はかき氷とホットドッグのお店を出しました。とても蒸し暑い1日だったので、かき氷は大行列でした。かき氷は何回もやって勝手がわかっていましたが、ホットドッグは初めてなので手順がわからず、慣れるまで大変でした。完売した時には嬉しかったです。どちらも容器はプラではなく紙にして環境に気を遣いました。盆踊りは太鼓の叩き手の皆さんの生演奏の中、大勢の人達が輪になって楽しみました。

今回は、会場にてＬＩＮＥ登録をしていただき、これからの町会の発展のために行事への参加を呼びかけていくという新しい企画を試みました。

（荏原二丁目・伊藤　茂実）

区民まつり当日の様子

花めぐり

アサガオ

令和6年7月
小山二丁目で撮影

7月は七夕の頃「恐れいりや（入谷）の鬼子母神」と洒落言葉でも知られる入谷鬼子母神（真源寺）を中心に朝顔業者や露店が並ぶ「朝顔まつり・朝顔市」が朝早くから開かれて多くの人で賑わいます。

アサガオは奈良時代に薬用として伝来したと言われています。やがて観賞用として栽培されるようになり、江戸時代には品種改良により青一色だったアサガオも多色になり多くの変化アサガオも栽培されました。一大ブームとなったアサガオ栽培は品評会も開かれ番付表が作られたり、浮世絵の題材にもなったようです。

東野圭吾の「夢幻花（ＰＨＰ文芸文庫）」では、「黄色いアサガオ」を巡って事件が起こります。今では見られない黄色いアサガオも江戸時代には存在していたようです。

花言葉は「淡い恋」「愛情」「結束」など。

（小山一丁目・河原　マサ江）

「どうぞよろしく」新町会長紹介

小山五丁目町会
松井　清一会長

出身地：小山五丁目
趣　味：仕事・ゴルフ・アゲハ飼育
一　言：最近感じる事は、人と人との繋がりが希薄になっていることです。家族構成も昭和、平成、令和と変化して独り住まいの方が増えています。それでも地域の行事、たとえばお祭りやラジオ体操などはたくさんの子供たちが参加してくれます。私もこの地域で生まれ育ち、色々な経験をさせてもらいました。町会は地域の繋がりを育てるコーディネーターだと思っています。今後30年の間に70％の確率で首都直下型地震が起こると予想されています。そんな時、自助、共助は普段の繋がりから自身の身を守ります。若輩者ですが少しでも地域に恩返しができればと思いますので、よろしくお願いいたします。

KOYAMA5CHOUME

『小山五丁目町会 Instagram（インスタグラム）始めました』
『町会活動の記録、案内など随時発信して地域の活性化に繋げてまいります。皆様にはぜひフォローをお願いいたします。』

畳の昔と今・未来へ

畳は日本で利用されている伝統的な床材です。芯材になる板状の畳床（たたみどこ）の表面に井草で織って作った敷物状の畳表（たたみおもて）を張り付けて作ります。畳床は稲作の副産物である稲わらを乾燥させ、強く圧縮して縫い止め、厚さ5㎝程度の板状に加工する製法でわら床と呼ばれます。縁には畳表を止めるためと装飾を兼ねて畳縁（たたみべり）と呼ばれる帯状の布を縫い付けています。一部には縁のない畳もあります。古代の畳はむしろ・ござ・こもなどの薄い敷物の総称でした。室町時代に入ると茶道の拡大に伴い、正座と共に厚みのある畳が普及しました。小山四丁目には昔ながらの畳店があります。三代目の加藤誠さんに昨今の畳事情を伺いました。「20代前半頃は仕事を覚えるため、全ての工程を手縫いで製作。手縫いは非常に手間と時間がかかるが、経年後の形崩れが少なく、きれいな状態を長く保てる。最近は機械と手縫いでの製作で、素材も様々に。畳表も井草だけではなく、和紙で出来た表を使うようになったり、畳床部分のわらの間に発泡スチロールを挟んだスタイロ畳が登場し、主流になってきた。畳職人としては住宅スタイルの変化によって、和室が少なくなっている事が少し寂しい。」という貴重なお話を伺いました。

畳の特徴は高い断熱性と保温性にあります。さらに優れた吸湿能力もあり、適度な弾力で座り心地も良いです。また、自然の優しい色や匂いでリラックス効果があると言われています。今後、環境や健康の点からも『畳のよき見直し』が必要になることに期待します。

（小山四丁目・東　美佐栄）

畳縁は畳用針で手縫い
※写真は寺社仏閣用の紋縁(もんべり)

町会活動紹介

ラジオ体操
（小山三丁目町会）

ラジオ体操の様子

毎年、7月21日から31日まで、町内の朗惺寺の境内をお借りしてラジオ体操を行っています。コロナウイルス感染防止のため3年間中止していましたが昨年から再び開催しました。

毎日100名前後の児童、生徒、近隣住民が参加し、朝6時半から始まるＮＨＫの生のラジオ放送に合わせて第二体操まで行います。体操が終わると出席カードにスタンプが押され、ゲーム大会が始まります。ゲームの勝敗により様々な景品（おもちゃ）がもらえ、全日出席すると皆勤賞ももらえます。つまりラジオ体操とミニゲーム大会がミックスされていて、子供たちにとっての夏休みの楽しい行事になっています。昔から他町会の子供たちも多数参加してくれており、ちょっと自慢のラジオ体操です。

この行事は町会の青少年部が主導し、町会役員以外にも小山小学校、後地小学校のＰＴＡの方々や近隣の青少年地区委員の方々に、ジュース配りやゲームの補佐、出入口の交通整理などのお手伝いをして頂いております。毎年ありがとうございます。

（小山三丁目・会長　飯田　勝久）